

「食でつなぐ地方と都市の持続可能な社会システム (SDGs) 研究会」開催のご案内

2018年9月1日に辻調理師専門学校は、慶應義塾大学 SFC 研究所社会イノベーション・ラボ（代表：玉村雅敏）、株式会社 mellow（代表取締役：石澤正芳）、鹿児島相互信用金庫（理事長：稲葉直寿）と共に「地域おこし×災害支援フードトラックプロジェクト」を発足致しました。

このプロジェクトでは、全国各地の自治体・企業・団体・金融機関・研究機関・料理人等が協力して、多様な主体を結びつけるチカラを持つ「食」の観点から、「人材育成×社会課題×ビジネス」の相乗効果がある社会システムの構築を推進しています。この度、プロジェクトの研究開発と連携促進の一環として、「研究会」及び「地域おこし料理人説明会」を開催致しますのでご案内致します。

■日時：2019年2月8日（金）第一部：14:00-16:10、第二部：16:30-17:30

■場所：辻調理師専門学校（大阪市阿倍野区松崎町3-16-11）

■対象：料理人、地域と連携した小型店舗・小型移動店舗（フードトラック）の創業を考えている方、地域おこしや地域活性化に興味がある方、地域おこし協力隊の活動を検討している方、食のチカラを活かした活動に興味のある方など

■参加費：無料 ■定員：40名

■プログラム

<第1部>研究会 14:00-16:10

1. 「地域おこし×災害支援フードトラックプロジェクト」と「食でつなぐ地方と都市の持続可能な社会システム (SDGs)研究会」概要説明

玉村雅敏（慶應義塾大学総合政策学部 教授）

2. 事例報告①：「あきない虎の穴」卒業生店舗が生存率80%以上で推移している理由

浜田哲史（大阪市都市型産業振興センター スタートアップ支援チーム チーフプランナー）

3. 事例報告②：産官学金連携の「Uターンと協業を促進する奨学金制度」一食の観点からの工夫

本永謙介（鹿児島相互信用金庫 そうしん地域おこし研究所）

4. 意見交換、今後の研究開発内容に関する協議

<第2部> 「地域おこし料理人」説明会・相談会 16:30-17:30

1. 「地域おこし料理人」概要説明

尾藤環（辻調理師専門学校 企画部部長） 玉村雅敏（慶應義塾大学総合政策学部 教授）

2. 自治体による募集：長島町アンテナフードトラック「ぶりうま食堂」運用に関する募集など

太田良冠（鹿児島県長島町地域おこし研究員）

3. 個別相談

■申込方法 ※必要事項を記載のうえ、以下のメールアドレスまでご連絡をお願いいたします。

(1) 必要事項：ご所属、お名前、連絡先（電話番号）、参加人数、

[参加ご希望の部（一部二部両方／一部のみ／二部のみ）](#)

(2) お申込み先メールアドレス：food-truck@sfc.keio.ac.jp

<研究会に関するお問合せ>

■辻調理師専門学校 TEL：06-6629-0206 E-mail：tsujichopress@tsujicho.com（担当：尾藤）

■慶應義塾大学 SFC 研究所 VCOM 「地域おこし×災害支援フードトラックプロジェクト」事務局

TEL：03-4590-0444 E-mail：food-truck@sfc.keio.ac.jp（担当：太田・菅井）

■鹿児島相互信用金庫そうしん地域おこし研究所

TEL：099-259-5222 E-mail：sosin@kasosin.com（担当：本永・中村）